

茨城県弁護士会憲法シンポジウム 主催：茨城県弁護士会
共催：日本弁護士連合会（予定）・関東弁護士会連合会（予定）

憲法改正問題に取り組む全国アクションプログラム

今こそ、スパイ防止法を考える。



基調講演 海渡 雄一 弁護士（かいど・ゆういち）

元日本弁護士連合会事務総長
秘密保護法対策弁護団共同代表

日時 2026年3月7日（土） 13：30～16：00

場所 茨城県県南生涯学習センター 中講座室1（定員 100 名）

茨城県土浦市大和町 9 番 1 号 ウララビル5 階（常磐線土浦駅直結）

Zoom による Web 開催を併用いたします。

Zoom の URL と QR コード、ウェビナーID は下記の通りです。



<https://us06web.zoom.us/j/84693693685>

ウェビナーID: 846 9369 3685

当日、直接入力の上、ご視聴ください。視聴無料です。

事前登録は、不要です。

茨城県弁護士会ホームページからもご案内できます。

問い合わせ先：茨城県弁護士会

茨城県水戸市大町2 -2 -7 5

電話 029 -221 -3501

【企画趣旨】

「スパイ防止法」の制定が、いよいよ現実味を帯びてきました。

「インテリジェンス」の名の下に「スパイ防止法」の制定が許されるのか。根本から考える必要があります。

秘密保護法制について、反対の立場から長年取り組み、スパイ防止法の歴史や危険性について、大変造詣が深い、海渡雄一弁護士を講師にお招きし、基調講演を行っていただきます。

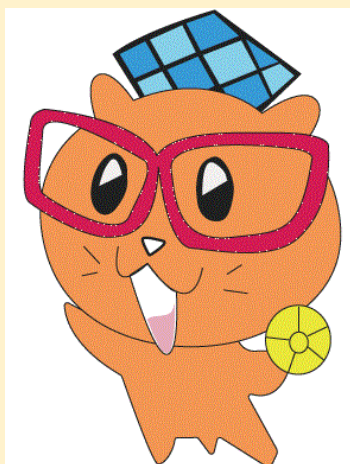
【内容】

- ① 基調報告 海渡雄一弁護士 氏（スパイ防止法、治安維持法制について）
- ② 基調報告を受けての質疑応答

【海渡雄一弁護士 氏 プロフィール】

1955年生まれ。弁護士。81年弁護士登録。第二東京弁護士会所属。元日弁連事務総長
日弁連事務総長として、震災と原発事故対策に取り組む。脱原発弁護団全国連絡会共同代表として、
3.11後の東京電力の責任追及、原発運転差し止めのための訴訟多数を担当。
著書に、『原発訴訟』（岩波新書）、『戦争する国のつくり方ー「戦前」をくり返さないために』（彩流社）などがある。

お助けニャン(茨城県弁護士会マスコットキャラクター)



お助けさん（同）

